

まちの日記帳



大自然を満喫しながら 第2回少年教室

6/16



5年に一度、全道を950地区に分けて植物を調査する北海道フラワーズン（北海道新聞社主催）に、第2回少年教室に参加した小学生や山岳愛好会（橋場政雄会長）会員など20人が参加し、積丹岬自然遊歩道周辺の植物を調査しました。

小学生は、植物のミニ図鑑を片手に約4kmの遊歩道を散策。笠泊海岸や初めて見る女郎子岩の景色を満喫しながらも調査員としての使命を持ち、沿道に咲く植物を注意深く観察し記録を取る姿が見られました。

漁港をきれいに！ 漁港利用協議会が清掃活動に汗

6/17



美国漁港のプレジャーボート利用者で構成する美国漁港利用協議会（八戸良一会長）は、同港の良好な環境を維持するため、長年にわたって清掃活動の取り組みを行っています。

この日、同協議会会員など参加した30人は、港内に散乱した空き缶やペットボトルのほかロープや網など、2時間かけて拾い集めました。

八戸会長は、「漁港を利用する皆さんが安全で気持ち良く利用できるような後も継続していきたい。」と話されています。

今年は127人に表彰 よい歯の子8020表彰式

6/28



積丹町こどもの歯を守る会（尾立光会長）の主催による「第25回よい歯の子・8020表彰式」が総合文化センターで開催されました。

今年度の「よい歯の子」は、幼児34人、小学生60人、中学生28人の合計122人、また、80歳以上で20本以上の自分の歯を持っている8020表彰者は5人でした。

出席者一人ひとりに賞状と歯磨きセットの記念品が手渡されると、嬉しそうな表情を浮かべる子供たちの姿が見られました。

入舸で夏祭り マリノフェスティバル

7/1



入舸町自治会が主催する毎年恒例の夏祭り「マリノフェスティバルin入舸」が入舸会館駐車場で開催されました。

会場では、ビールや焼きそば、焼き鳥などが販売されたほか、子どもたちや婦人会の皆さんによる踊り、お楽しみ抽選会が行われ、多くの人で賑わいを見せていました。

また、お祭りには、北星学園の学生らも参加し、子どもたちに綿あめを振る舞うなど、地域との交流を深めました。



札幌とその近郊に居住している積丹町出身者で構成する札幌しゃこたん会（大平哲会長・会員91人）が主催する年に一度の「積丹周遊バスツアー」が行われ27人の会員が岬の湯の入浴や神威岬の見学など1泊2日の故郷の旅を楽しみました。

地元から山本俊三町ふるさと振興協議会長や松井町長、岩本議長なども加わり始まった懇親会では、再会を喜び、お酒と美味しい料理を堪能しつつ、互いの近況や故郷の思い出話に花を咲かせていました。

ふるさと応援隊！
札幌しゃこたん会周遊ツアー

7/8 7/7



妊娠期から1歳未満の子どもがいる家族を対象とした離乳食教室が総合文化センターで開催され、4組の親子が参加しました。

在宅栄養士の神山悦子さん（余市町）を講師に、赤ちゃんの発達に合わせた簡単で栄養たっぷりのレシピが紹介されたほか、「すりつぶし」などの実習や試食も行われました。

また、参加者の離乳食作りの体験談や意見交換なども行われ、時々笑い声も出るなど和やかな教室となりました。

妊婦とママを応援！
簡単レシピを紹介

7/11



キャンプや行楽客で賑わいを見せている美国小泊海岸で、伊藤園の社員の皆さんによる清掃ボランティア活動が行われました。

快晴のもと、道内各地の支店などから集まった社員とその家族90人は、ゴミ袋を片手に、漂流物やキャンプ用品、空き缶など拾い集め、清掃活動に汗を流しました。

この活動は、社会貢献活動の一環として行われているもので、昨年は、野塚野営場で実施されました。

『おいしいお茶』の
伊藤園が社会貢献活動

7/14



3歳未満の子どもを持つお母さんや子ども同士の交流の機会を目的としたびよびよクラブがB&G海洋センターで行われ6組の親子が「プール遊び」に参加しました。

子どもたちは、大小3つのビニールプールに浮かべられたボールや手作りのおもちゃを使っての水遊びに夢中。お母さんたちも、友達と元気に遊ぶわが子の姿に微笑んでいました。

短い時間でしたが、子どもたちはたっぷりと楽しい時間を過ごしていました。

水遊びに夢中
子育て交流会びよびよクラブ

7/19